

本堂 ほんどう

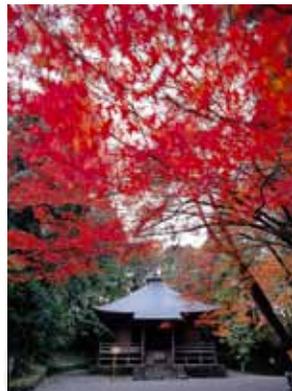
中尊寺の根本道場で、ご本尊は阿弥陀如来。藤原四衡公の御月忌、天台宗の祖師忌、法華経一日頓写経会を始めとする法要儀式が行われます。内陣には伝教大師最澄以来千二百年の間受け継がれる「不滅の法灯」が灯されています。各家先祖代々の回向、坐禅・写経の道場でもあります。



以来千二百年の間受け継がれる「不滅の法灯」が灯されています。各家先祖代々の回向、坐禅・写経の道場でもあります。

《重文》経蔵 きょうぞう

金色堂のそばに建つ経蔵は「中尊寺経」を納めていたお堂。平安時代の古材が随所に用いられています。真紅に色づいた「いろはもみじ」が降りしきる堂前は境内一の秋光です。



拝観料のご案内

Information

❖ 秘佛御開帳

秘佛御開帳 拝観料	大人	800円
	小学生～高校生	400円

※観光券契約旅行社は、観光券の発行が可能です。
但し、金色堂・讃衡蔵拝観料とは別に発行願います。
※団体料金の設定はございません。

❖ 金色堂・讃衡蔵

金色堂・讃衡蔵 拝観料	個人	30名以上	100名以上
	大人	800円	720円
高校生	500円	450円	400円
中学生	300円	270円	240円
小学生	200円	180円	160円

※観光券契約旅行社は、観光券の発行が可能です。

交通のご案内

Access

- JR 東北新幹線（一ノ関駅まで）
 - 新青森 ↔ 一ノ関 1時間45分
 - 盛岡 ↔ 一ノ関 40分
 - 新花巻 ↔ 一ノ関 30分
 - 仙台 ↔ 一ノ関 30分
 - 東京 ↔ 一ノ関 2時間20分
- JR 東北本線（平泉駅まで）
 - 盛岡 ↔ 平泉 1時間30分
 - 花巻 ↔ 平泉 50分
 - 一ノ関 ↔ 平泉 10分
- 東北自動車道（平泉前沢ICまで）
 - 秋田中央IC ↔ 平泉前沢IC / 約1時間40分 (143.7km)
 - 盛岡IC ↔ 平泉前沢IC / 約50分 (80.3km)
 - 花巻IC ↔ 平泉前沢IC / 約37分 (49.5km)
 - 仙台宮城IC ↔ 平泉前沢IC / 約1時間 (99.4km)
 - 浦和IC ↔ 平泉前沢IC / 約4時間30分 (427km)
- 航空（花巻空港、仙台空港まで）

札幌 ↔ 花巻 55分	札幌 ↔ 仙台 1時間5分
大阪 ↔ 花巻 1時間20分	名古屋 ↔ 仙台 1時間15分
名古屋 ↔ 花巻 1時間10分	小松 ↔ 仙台 1時間
	大阪 ↔ 仙台 1時間25分
	広島 ↔ 仙台 1時間40分
	福岡 ↔ 仙台 1時間45分

中尊寺
モバイルサイト



❖ お問い合わせ / 中尊寺事務局
〒029-4195 岩手県西磐井郡平泉町平泉字衣関202
TEL.0191-46-2211

世界遺産

中尊寺

天台宗東北大本山。八五〇年、慈覚大師円仁の開山。12世紀初め奥州藤原氏初代清衡公が前九年・後三年の合戦で亡くなった命を平等に供養し、仏国土を建設するため大伽藍を造営しました。惜しくも14世紀に堂塔の多くは焼失しましたが、金色堂始め三千余点の国宝・重要文化財を伝える平安仏教美術の宝庫です。

「平泉―仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群―」としてユネスコの世界文化遺産に登録されています。

秘佛御開帳

- ❖ 御開帳期間 平成24年7月17日(火)～11月11日(日)
- ❖ 拝観時間 午前8時30分～午後5時
※11月4日からは閉館が4時30分となります。
- ❖ 会場 讃衡蔵特別収蔵室

讃衡蔵企画展

- ❖ 第1期 / 「経絵の世界」
4月1日(日)～5月20日(日)
国宝「中尊寺経」の見返絵を展観します。
- ❖ 第2期 / 「甦る平安の輝き」
8月26日(日)～9月30日(日)
中尊寺を代表する漆芸品の原資料と復元資料を比較展示します。



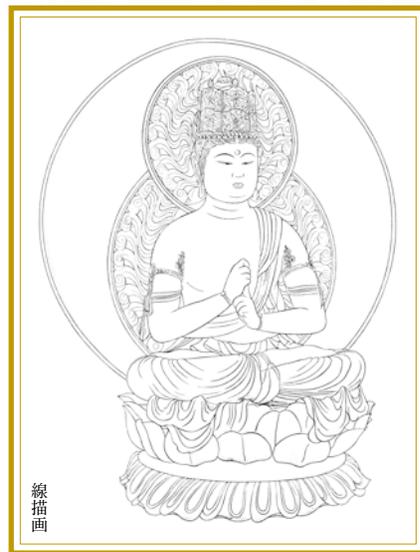
螺鈿平慶案
(国宝)



螺鈿平慶燈台
(国宝)



紺紙金字一切経
(国宝)
上 / 表紙絵
下 / 見返絵



線描画

秘佛御開帳



《国宝》金色堂

こんじきどう

天治元年(一一二四)の造立で、現存する唯一の創建遺構です。ご本尊は阿弥陀如来、脇侍に観音・勢至菩薩、さらに六体の地藏菩薩と持国天・增長天が本尊を取り巻いています。堂全体を金箔で覆い、皆金色の極楽浄土を現世に表しています。内陣は螺鈿細工・蒔絵などの漆工芸や精緻な彫金で荘厳され、平安仏教美術の最高峰をなしています。

中央の須弥壇の内に初代清衡公、向かって左の壇に二代基衡公、右の壇に三代秀衡公のご遺体と四代泰衡公の首級が納められています。

一字金輪佛頂尊坐像

いちじきんりんぶつちようそん

ざいざう

梵名「ポロン」の一字で表される、最勝・最尊の仏さまです。世に「人肌の大日」と称されておりますのは、尊像が白肉色に彩色され、細く眉を引き、玉眼を嵌入し、唇には朱を引いて、あたかも身生の御仏に映るからです。誰しもがその余りにも優美なお姿に魅了されるのですが、また、畏怖の念も禁じ得ません。

このたび、「秘佛」御開扉の勝縁によって「平泉」の世界遺産登録を慶讚し、東北の復興を祈念いたしたいと存じます。

❖ 重要文化財 木造彩色 像高七六〇 平安時代十二世紀